



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	MagExtractor® -PCR & Gel Clean up-
製品コード	NPK-601、NPK-601S、NPK-609CH、NPK-609LS
会社名	東洋紡績株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833

推奨用途および使用上の制限

PCR反応液及びアガロースゲルからのDNAの単離・精製(遺伝子研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

有害性

パーツ(1) 吸着液には、約5%のエチレングリコール、約1%の酢酸、及びタンパク質変性作用を持つグアニジンチオシアン酸塩が含まれる。また、パーツ(2) 洗浄液には、同じくタンパク質変性作用を持つグアニジン塩酸塩が含まれる。これらは、皮膚や目に対して熱傷をおこし、視力低下や失明をおこす可能性がある。
有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

物理的及び化学的危険性

通常の状態では危険性は小さい。

特有の危険有害性

特になし

GHS分類

パーツ(1) 吸着液

エチレングリコールの分類について記載

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外



製品安全データシート

2. 危険有害性の要約(続き)

	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器、心臓)
環境有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 区分3 区分外
パーツ(1) 吸着液 物理化学的危険性	酢酸の分類について記載 火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性物質 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分3 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん) 急性毒性・吸入(ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない 区分5 区分4 分類対象外 区分外 分類対象外 分類できない 区分1A-1C 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1(血液) 区分2(呼吸器系)
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない 区分3 区分外
ラベル要素		
絵表示又はシンボル:		
注意喚起語:	危険	



製品安全データシート

2. 危険有害性の要約(続き)

危険有害性情報:

飲み込むと有害のおそれ (吸着液)
皮膚に接触すると有害 (吸着液)
重篤な薬傷・眼の損傷 (吸着液)
重篤な眼の損傷 (吸着液)
器官の損傷 (消火器系、血液) (吸着液)
呼吸器の刺激のおそれ (吸着液)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (吸着液)
中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓の障害 (吸着液)
長期又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害 (吸着液)

注意書き:

水生生物に有害 (吸着液)

【安全対策】

適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。

環境への放出を避ける。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。

換気の良い区域でのみ使用する。

環境への放出を避ける。

【緊急処置】

取扱い後はよく手を洗う。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求める。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受ける。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける。

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡する。

【保管】

容器を密閉して保管する。

施錠して保管する。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託する。

国・地域情報:



製品安全データシート

3. 組成、成分情報

(1) 吸着液

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

グアニジンチオシアン酸
塩

エチレングリコール

酢酸

濃度
化学特性(化学式)

5M以下
 $\text{H}_2\text{NC}(:\text{NH})\text{NH}_2 \cdot \text{HSCN}$

6%以下
 $\text{HOCH}_2\text{CH}_2\text{OH}$

1%以下
 CH_3COOH

CAS番号
官報公示整理番号 化審法:
安衛法:

593-84-0

107-21-1

64-19-7

化学物質管理促進法
指定化学物質(政令番号)

-

(2)-230

2-688

-

-

該当しない

該当しない

労働安全衛生法
通知対象物(政令番号)

該当しない

第75号

第176号

毒物劇物取締法
毒物・劇物(政令番号)

該当しない

該当しない

該当しない

(2) 洗浄液

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

グアニジン塩酸塩

濃度

8M以下

化学特性(化学式)

$\text{HN}:\text{C}(\text{NH}_2)_2 \cdot \text{HCl}$

CAS番号

50-01-1

官報公示整理番号

化審法:1-215、2-1
773

危険有害成分

化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物、毒物劇物取締法の毒物・劇物に該当する物質は含まれていない。

(3) 磁性ビーズ

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

磁性シリカ粒子

塩化リチウム

濃度

70%以下

5M以下

化学特性(化学式)

Fe_2O_3 , SiO_2

LiCl_2

CAS番号

7447-41-8

官報公示整理番号

対象外

化審法:1-231

危険有害成分

化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物、毒物劇物取締法の毒物・劇物に該当する物質は含まれていない。

4. 応急措置

吸入した場合

誤って吸入した場合、新鮮な空気のある場所へ移動する。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染した衣類、靴などを直ちに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。外観に変化があるか、痛みが続く場合には直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合

目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。



製品安全データシート

5. 火災時の措置

消火剤
消火を行う者の保護

粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂など
消火作業は風上から行う。
大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

人体に及ぼす有害性に関する調査が不十分なので、取り扱い時には保護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用する。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

除去方法

土砂、おがくず、ウェス等に吸収させて空容器に回収する。作業時には必ず保護具を着用し、吸入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

試薬の飛散がないよう、実験器具を留意して操作する。
近くに洗眼、洗浄を行うための設備を設置する。

注意事項

眼に入ったり、皮膚や衣類に触れたり、吸入しないよう注意する。
取り扱い後は手を良く洗浄すること。

安全取扱い注意事項

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

容器を密閉し、冷蔵庫内(4℃)で保管する。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気設備を設置する。取扱い場所近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

日本産業衛生学会
(2005年版)

エチレングリコール
設定されていない。

酢酸

10ppm (25mg/m³)

ACGIH(2005年版)

C 100mg/m³(TLV-
STEL)

10ppm (TLV-TWA), 15ppm(TLV-STEL)

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色

磁性ビーズは茶褐色懸濁液、他は常温で無色透明の液体。

臭い

ほとんど無臭

pH

7.0~8.0。

引火点

引火性はない。

発火点

発火性はない。

爆発特性

爆発性はない。

密度

データなし

溶解性

磁性ビーズは水に不溶、他は水に可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性

4℃で安定

反応性

危険有害な反応性はない



製品安全データシート

1 1. 有害性情報

急性毒性
皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性

データなし
皮膚、眼、鼻、喉などの粘膜に対し、刺激性を示す。
特に吸着液、洗浄液は、皮膚や目に対して熱傷をおこし、視力低下や失明をおこす可能性がある。

1 2. 環境影響情報

移動性
残留性・分解性

磁性ビーズ以外は、水溶性であり、水系に拡散する。
データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い処理する。

汚染容器・包装

その施設、地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制
海上
航空
国内規則
陸上
海上
航空
輸送の特定の安全対策及び条件

非危険物
非危険物

消防法の規定に従う。

非危険物
非危険物

輸送に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

法規制

エチレングリコール(吸着液)は、労働安全衛生法:名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第75号)に該当する。

酢酸(吸着液)は、労働安全衛生法:名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第176号)、危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)、腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)に該当する。

1 6. その他の情報

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

制約事項

ACGIH(7th,2001)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の実用を前提としたものであるため、特別の実用を要する場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。

本製品使用者には、安全教育、定期的な健康診断の実施をお願いします。



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	MagExtractorR -PCR & Gel Clean up-
製品コード	NPK-601、NPK-601S、NPK-609CH、NPK-609LS
会社名	東洋紡績株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833

推奨用途および使用上の制限 PCR反応液及びアガロースゲルからのDNAの単離・精製（遺伝子研究用試薬）

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

有害性

パーツ(1) 吸着液には、約5%のエチレングリコール、約1%の酢酸、及びタンパク質変性作用を持つグアニジンチオシアン酸塩が含まれる。また、パーツ(2) 洗浄液には、同じくタンパク質変性作用を持つグアニジン塩酸塩が含まれる。これらは、皮膚や目に対して熱傷をおこし、視力低下や失明をおこす可能性がある。有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

物理的及び化学的危険性

通常の状態では危険性は小さい。

特有の危険有害性

特になし

GHS分類

パーツ(1) 吸着液 物理化学的危険性

エチレングリコールの分類について記載

火薬類

分類対象外

可燃性・引火性ガス

分類対象外

可燃性・引火性エアゾール

分類対象外

支燃性・酸化性ガス

分類対象外

高压ガス

分類対象外

引火性液体

区分外

可燃性固体

分類対象外

自己反応性化学品

分類対象外

自然発火性液体

区分外

自然発火性固体

分類対象外

自己発熱性化学品

分類できない

水反応可燃性化学品

分類対象外

酸化性液体

分類対象外

酸化性固体

分類対象外

有機過酸化物

分類対象外

金属腐食性物質

分類できない

人健康有害性

急性毒性（経口）

区分5

急性毒性（経皮）

区分外

急性毒性（吸入：気体）

分類対象外

急性毒性（吸入：蒸気）

分類できない

急性毒性（吸入：粉じん）

分類対象外

急性毒性（吸入：ミスト）

分類できない

皮膚腐食性・刺激性

区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分2B

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

区分外

発がん性

区分外

生殖毒性

区分1B



整理番号 00158A

製品安全データシート

2. 危険有害性の要約(続き)

	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器、心臓)
環境有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 区分3 区分外
パーツ(1) 吸着液 物理化学的危険性	酢酸の分類について記載 火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性物質 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分3 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん) 急性毒性・吸入(ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分5 区分4 分類対象外 区分外 分類対象外 分類できない 区分1A-1C 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1(血液) 区分2(呼吸器系)
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない 区分3 区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険



製品安全データシート

2. 危険有害性の要約(続き)

危険有害性情報：

飲み込むと有害のおそれ(吸着液)
皮膚に接触すると有害(吸着液)
重篤な薬傷・眼の損傷(吸着液)
重篤な眼の損傷(吸着液)
器官の損傷(消火器系、血液)(吸着液)
呼吸器の刺激のおそれ(吸着液)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(吸着液)
中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓の障害(吸着液)
長期又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害
(吸着液)

注意書き：

水生生物に有害(吸着液)

【安全対策】

適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。

環境への放出を避ける。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。

換気の良い区域でのみ使用する。

環境への放出を避ける。

【緊急処置】

取り扱い後はよく手を洗う。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めろ。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受ける。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける。

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡する。

【保管】

容器を密閉して保管する。

施錠して保管する。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託する。

国・地域情報：



製品安全データシート

3. 組成、成分情報

(1) 吸着液

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

グアニジンチオシアン
酸塩

エチレングリコール

酢酸

濃度
化学特性(化学式)

5M以下
 $H_2NC(:NH)NH_2 \cdot$
HSCN

6%以下
HOCH₂CH₂OH

1%以下
CH₃COOH

CAS番号
官報公示整理番号 化審法：
安衛法：
化学物質管理促進法
指定化学物質(政令番号)

593 - 84 - 0

107-21-1
(2)-230

64 - 19 - 7
2 - 688

該当しない

第43号

該当しない

労働安全衛生法
通知対象物(政令番号)

該当しない

第75号

第176号

毒物劇物取締法
毒物・劇物(政令番号)

該当しない

該当しない

該当しない

(2) 洗浄液

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

グアニジン塩酸塩
8M以下

濃度
化学特性(化学式)

HN:C(NH₂)₂·HCl

CAS番号
官報公示整理番号

50 - 01 - 1

化審法: 1 - 215, 2 - 1
773

危険有害成分

化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物、毒物劇物取締法の毒物・劇物に該当する物質は含まれていない。

(3) 磁性ビーズ

単一製品・混合物の区別
化学名または一般名

混合物

磁性シリカ粒子

塩化リチウム

濃度
化学特性(化学式)

70%以下
Fe₂O₃, SiO₂

5M以下
LiCl₂

CAS番号
官報公示整理番号

7447 - 41 - 8

対象外

化審法: 1 - 231

危険有害成分

化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物、毒物劇物取締法の毒物・劇物に該当する物質は含まれていない。

4. 応急措置

吸入した場合

誤って吸入した場合、新鮮な空気の場合に移動する。異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染した衣類、靴などを直ちに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。外観に変化があるか、痛みが続く場合には直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合

目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。



製品安全データシート

5．火災時の措置

消火剤
消火を行う者の保護

粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂など
消火作業は風上から行う。
大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項

人体に及ぼす有害性に関する調査が不十分なので、取り扱い時には保護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用する。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

除去方法

土砂、おがくず、ウェス等に吸収させて空容器に回収する。作業時には必ず保護具を着用し、吸入しないように注意する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

試薬の飛散がないよう、実験器具を留意して操作する。
近くに洗眼、洗浄を行うための設備を設置する。

注意事項

眼に入ったり、皮膚や衣類に触れたり、吸入しないよう注意する。
取り扱い後は手を良く洗浄すること。

安全取扱い注意事項

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

容器を密閉し、冷蔵庫内(4)で保管する。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策

換気設備を設置する。取扱い場所近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

日本産業衛生学会
(2005年版)

エチレングリコール 酢酸
設定されていない。 10ppm (25mg/m³)

ACGIH (2005年版)

C 100mg/m³(TLV-
STEL) 10ppm (TLV-TWA) , 15ppm(TLV-STEL)

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9．物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色

磁性ビーズは茶褐色懸濁液、他は常温で無色透明の液体。

臭い

ほとんど無臭

pH

7.0 ~ 8.0。

引火点

引火性はない。

発火点

発火性はない。

爆発特性

爆発性はない。

密度

データなし

溶解性

磁性ビーズは水に不溶、他は水に可溶。

10．安定性及び反応性

安定性

4 で安定

反応性

危険有害な反応性はない



製品安全データシート

1 1 . 有害性情報

急性毒性
皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性

データなし
皮膚、眼、鼻、喉などの粘膜に対し、刺激性を示す。
特に吸着液、洗浄液は、皮膚や目に対して熱傷をおこし、視力低下や失明をおこす可能性がある。

1 2 . 環境影響情報

移動性
残留性・分解性

磁性ビーズ以外は、水溶性であり、水系に拡散する。
データなし

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に
従い処理する。

汚染容器・包装

その施設、地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制

海上

非危険物

航空

非危険物

国内規則

陸上

消防法の規定に従う。

海上

非危険物

航空

非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がない
よう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5 . 適用法令

法規制

エチレングリコール(吸着液)は、労働安全衛生法:名称等を通知すべき
有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第75
号)、化学物質排出把握管理促進法(P R T R法):第1種指定化学物質
(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号 第43号)に該当す
る。

酢酸(吸着液)は、労働安全衛生法:名称等を通知すべき有害物(法第5
7条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第176号)、危険物・
引火性の物(施行令別表第1第4号)、腐食性液体(労働安全衛生規則
第326条)に該当する。

1 6 . その他の情報

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社(2000年)

制約事項

ACGIH(7th,2001)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成して
おり、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の見取りを対象としたものですので、特別の見取り
をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さ
い。

記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。

本製品使用者には、安全教育、定期的な健康診断の実施をお願いしま
す。